

資料③：無償実験の評価

目 次

1.調査の目的と調査体系.....	1
2.各調査の概要.....	2
2-1.利用者アンケート（市民）.....	2
2-2.利用者アンケート（観光客）.....	5
2-3.ヒアリング調査.....	8
3.調査結果.....	17
3-1.利用者アンケート（市民）.....	17
3-1.利用者アンケート（観光客）.....	23
3-3.ヒアリング調査.....	28
3-4.調査結果のまとめ.....	32

平成 26 年 10 月

南 城 市

1.調査の目的と調査体系

- 平成 26 年度の無償実験では、これまであまり取得できていない観光客に重点を置いた調査を実施しています。
- 具体的には、「おでかけなんじい」及び「観光おまかせなんじい」利用者への車内での「利用者アンケート調査」と、観光関連施設を対象とした「ヒアリング調査」により把握しています。
- 平成 25 年度に「おでかけなんじい」の利用状況や、導入後の変化等を把握する「登録者アンケート」を実施しましたが、今年度は、有償実験時の平成 27 年 2～3 月での実施を予定しています。
- 各調査の結果を、H25 無償実験、H26 無償実験、H26 有償実験と時系列で比較整理することで、有償・無償や、季節による違い等を把握、分析し、本格運行に向けた課題整理に活用します。

表-1.各種調査の実施スケジュール

区分	H25 無償実験 (H25.12～H26.3)	H26 無償実験 (H26.4～H26.12)	H26 有償実験 (H26.12～H27.3)
利用者アンケート (市民)	随時実施	随時実施	随時実施予定
利用者アンケート (観光客)	随時実施	随時実施	随時実施予定
登録者アンケート	H26.3 実施	—	H27.2～3 実施予定
ヒアリング調査	H25.3 実施 (医療機関・スーパー 等)	H26.9～10 実施予定 (主に観光関係施設)	H27 実施予定

2.各調査の概要

2-1.利用者アンケート(市民)

- 「おでかけなんじい」の利用状況を把握するため、車内にてアンケート調査を行いました。
- 利用目的、満足度等は、これまでの調査で傾向が把握できていることから削除し、デマンド導入後の変化についての質問を追加しています。

表-2.平成 25 年度と平成 26 年度の質問項目の比較

質問	H25 無償実験 (H25.12~H26.3)	H26 無償実験 (H26.4~H26.9)
属性(性別、年齢、居住地域、運転免許の有無、名前)	—	冒頭に質問
普段、よく面倒みてくれる方、同居の有無、クルマ所有の有無	—	問 1
「おでかけなんじい」利用の目的	問 1	—
利用の目的地、南城市外の場合は降車場所、降車場所からの移動手段も記入	問 2	—
「おでかけなんじい」がなかった場合の外出の有無と、外出した場合の移動手段	問 3	—
「おでかけなんじい」利用の満足度	問 4	—
改善して欲しい点	問 5	—
「おでかけなんじい」の必要性、必要な場合は利用頻度の意向	問 6	—
「おでかけなんじい」に支払ってもよい運賃	問 7	—
有償時があるとよいサービス	—	問 2
平成 25 年 12 意向の外出回数の変化	—	問 3
デマンド導入後の変化	—	問 4
自由意見	問 8	問 5

南城市にお住まいの方へ

★★ アンケートにご協力ください ★★

はじめに、あなたご自身について教えてください

性別（男・女）

年齢（64歳以下・65～69歳・70～74歳・75歳以上）

お住まいの地域（大里・玉城・佐敷・知念）

運転免許（持っている・持っていたが返納した・持っていない）

お名前

問 1. 普段、よく面倒をみてくれる方と同居の有無、クルマの保有状況について教えてください(それぞれに○)

【よく面倒をみてくれる方】

- 1.親 2.配偶者 3.兄弟 4.息子 5.娘 6.義理の息子 7.義理の娘
7.孫 8.特にいない 9. その他(友人など)

【普段よく面倒をみてくれる方と一緒に住んでいますか？】

（住んでいる・住んでいない・近所に住んでいる）

【普段よく面倒をみてくれる方はクルマを持っていますか？】

（持っている・持っていない）

問 2. 有料時に、どのようなサービスがあると、デマンドバスを利用しやすくなると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1.デマンドバスの回数券や定期券の発行
2.デマンドバスでの来店によるスーパーの割引サービス
3.デマンドバス利用による飲食店の割引サービス
4.デマンドバス利用によるその他施設利用の割引サービス
5.その他の内容()

裏面にお進みください

問3. 平成25年12月9日の「おでかけなんじい」導入後、外出する回数に変化はありましたか。

1.増加した → 利用前の外出回数(約 回/月)

利用後の外出回数(約 回/月)

2.あまり変わらない → 現在の外出回数(約 回/月)

問4. 「おでかけなんじい」利用以後、以下に示すような変化はありましたか。
(あてはまる番号すべてに○)

1.社会的になった 2.友人・知人と話す機会が増えた

3.歩く機会が増えた 4.体調がよくなった

5.送迎で家族などに気をつかわなくてよくなった

6.南城市内の行事に参加するようになった

7.南城市内での買い物をする機会が増えた

8.南城市内で外食する機会が増えた

9.早めに病院で見てもらう機会が増えた

10.その他

問5. その他、ご意見やご要望をお聞かせください



2-2.利用者アンケート(観光客)

- 観光客の「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」の利用状況や、南城市観光の実態を継続的に把握するため、車内にてアンケート調査を行いました。
- 南城市までの交通手段、観光の満足度、立ち寄り先等は、これまでの調査で傾向が把握できていることから削除し、有償時、本格運行時の広報活動の参考にするため、情報収集の状況の他、有償時の利用の有無等の質問を追加しています。

表-3.平成 25 年度と平成 26 年度の質問項目の比較

質問	H25 無償実験 (H25.12~H26.3)	H26 無償実験 (H26.4~H26.9)	備考
住所(県外は都道府県、県内は市町村まで)	問 1	問 1	
同行者数	—	問 2	
沖縄本島への来訪回数	問 2	—	
南城市への来訪回数	問 3	—	
南城市への来訪目的	問 4	—	
南城市での滞在日数と宿泊先	問 5	問 3	
南城市来訪時に参考にした情報媒体	—	問 4	
南城市来訪の検討時期	—	問 5	
南城市までの交通手段	問 6	—	
南城市内観光の満足度	問 7	—	
南城市再来訪意向	問 8	—	
「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」の認知媒体	問 9	問 6	
デマンドバスがなかった場合の南城市訪問の有無	問 10	—	
デマンドバス認知時の行程見直しの可能性	—	問 7	
デマンドバスの利用回数と訪問先	問 11	—	
デマンドバス利用の満足度	問 12	—	
有償時(300円)の利用の有無	—	問 8	
「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」の1回あたり、1日あたりの支払意思額	問 13	問 9	H26 調査は1日あたりのみ把握
自由回答	問 14	問 10	

**南城市にお越しの観光客のみなさまへ
☆☆ アンケートにご協力ください ☆☆**

問 1. お住まいを教えてください

1. 県内…沖縄県(市・町・村)
2. 県外……………(都・道・府・県)

問 2. 本日は、何名でいらっしゃいましたか(ご自身も含めます)

1. 人(複数の場合)→(友人・家族・職場・その他)

問 3. 今回の旅行での宿泊日数と宿泊地を教えてください。また、南城市内での滞在日数についてもあわせて教えてください

1. 一泊二日 2. 二泊三日 3. 三泊四日以上
- 宿泊先 ①南城市内(宿泊施設名:)
- ②市 外(市町村名:)
4. 南城市内滞在日数 → (数時間 半日 一日 二日以上)

問 4. 南城市へ来訪する際、どのような情報を参考にしましたか

1. 観光・旅行雑誌 2. テレビ・新聞・ラジオ 3. 観光施設のHP
4. 観光協会等のHP 5. ホテルのチラシ・スタッフ等
6. 旅行代理店のチラシ・スタッフ等
7. レンタカー会社のチラシ・スタッフ等
8. 観光案内所のチラシ・スタッフ等 8. 家族・知人等のクチコミ
9. 特に何も参考にはしていない 10. その他()

【ネットで検索した「キーワード」】

裏面にお進みください

問 5. 今回の旅行で、南城市への来訪を検討した時期をお聞かせください

1. 沖縄旅行を計画する時点で、すでに検討していた。
2. 沖縄滞在中に来訪を検討した
検討場所: 空港・ホテル・移動中・その他()
検討時: 南城市来訪 日前・当日)
3. その他()

以下の質問は、本日よりご利用の「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」についてうかがいます。

問 6. 「観光おまかせなんじい」「おでかけなんじい」を何で知りましたか

1. 南城市・観光協会等のHP
2. 観光施設のチラシ・ポスター
3. 宿泊先のチラシ・ポスター
4. 友人・知人等のクチコミ
5. その他()

問 7. 南城市に来訪する前に「観光おまかせなんじい」「おでかけなんじい」を知っていたら、観光の行程を見直していましたか。

1. 南城市来訪前に知っていた。
2. 特に変更や見直しはしなかったと思う。
3. 少し南城市での立ち寄りを増やしたと思う。
(追加したかった寄り先:)
4. 大幅に南城市での立ち寄りを増やしたと思う。
(追加したかった寄り先:)

問 8. もし1人1回につき300円の運賃がかかれば、利用していましたか。

1. 利用していたと思う
2. 利用しなかったと思う

問 9. もし「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」の両方を利用できる一日乗車券(フリーパス)があれば、いくらまでなら利用しますか。

一日乗車券 円までなら利用する

問 10. 最後に、感想や要望等ありましたらお聞かせください。

()



2-3.ヒアリング調査

- 「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」導入による観光面での効果を把握するため、観光関係施設を対象としたヒアリング調査を実施しました。

表-4.ヒアリング調査の概要

項目	内容
調査対象	南城市内の主な観光関連施設 【観光施設】 ●がんじゅう駅南城・地域物産館 ●おきなわワールド文化王国・玉泉洞 ●カフェくるくま 【宿泊施設】 ●ユインチホテル南城 ●民宿海坐 【スーパー】 ●アトール大里 ●イオンタウン南城
調査実施時期	平成 26 年 10 月
調査方法	調査員による聞き取り調査
把握項目	<ul style="list-style-type: none"> ●南城市を訪れる観光客の回遊パターン、南城市までの交通手段 ●観光客から寄せられる南城市の交通に関する要望 ●観光客のデマンドバスの認知状況 ●デマンドバス導入後の変化（施設利用者数の増加、曜日・時間帯別の来訪者数の変化 等） ●デマンドバス利用の観光客の声 ●デマンドバス導入による施設側のメリット ●デマンドバスとの連携の可能性 等

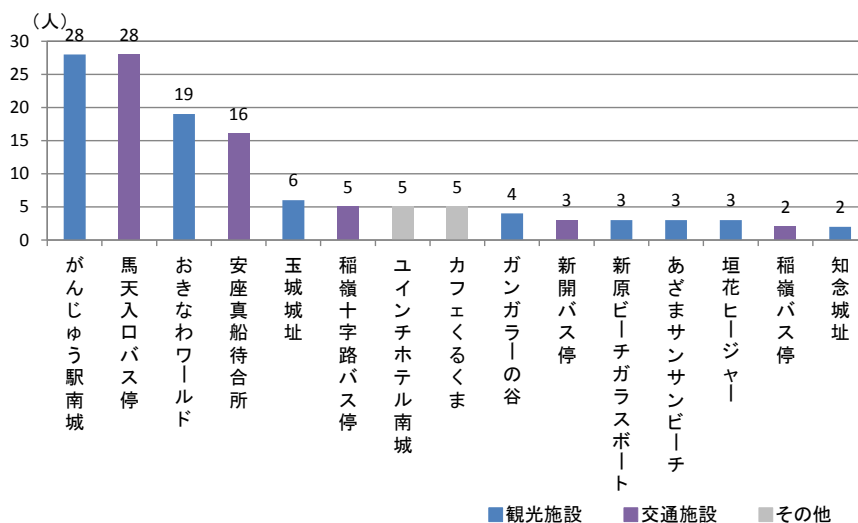


図-1.「おでかけなんじい」での観光客の立ち寄り先 (H25 無償実験)

表-5.ヒアリング調査の設問と設問対象

問番号	質問	設問対象		
		観光施設	宿泊施設	スーパー
問 A	観光客の南城市回遊状況	問 1	問 1	—
問 B	観光客のアクセス手段	問 2	問 2	—
問 C	観光客から寄せられる交通への要望	問 3	問 3	—
問 D	施設のピーク、オフピークの来訪状況	問 4	問 4	—
問 E	予約時期	—	問 5	—
問 F-1	チェックイン・アウトの時間帯	—	問 6	—
問 F-2	利用者が多い時間帯	—	問 7	—
問 G	観光客のデマンド認知度	問 5	問 8	—
問 H-1	デマンド導入後の施設利用者の変化	問 6	問 9	—
問 H-2	デマンド導入後の店舗利用者の変化	—	—	問 1
問 I	デマンド利用の観光客の感想・要望	問 7	問 10	問 2
問 J	デマンド導入の施設のメリット	問 8	問 11	問 3
問 K	有償運行時に予想される影響	—	—	問 4
問 L	本格運行時の連携意向	問 9	問 12	問 5
問 M	本格運行時の運賃負担の可能性	—	—	問 6
問 N	自由意見	問 10	問 13	問 7

デマンドバス利用に関するヒアリング調査

はじめに、南城市を訪れる観光客についてうかがいます。

問 A.南城市（貴施設）を訪れる観光客の南城市内での主な立ち寄り先や、回遊パターンを教えてください。

例：斎場御嶽からおきなわワールドや、ニライ・カナイ橋に行く方が多い。

問 B.貴施設を訪れる観光客の南城市までの交通手段のおおよその割合を教えてください。

レンタカー	<input type="text"/>	%	マイカー	<input type="text"/>	%	観光バス	<input type="text"/>	%
路線バス	<input type="text"/>	%	その他二輪車等	<input type="text"/>	%	計 100%		

問 C.南城市内の交通や、市外への交通について観光客から寄せられる要望などがありましたら、教えてください。

問 D.貴施設の利用者数のピークの時期とオフピークの時期、及びそれぞれの時期利用状況について教えてください。

例：ピークは、7-9月、GW、オフピークは1-2月。ピーク時は、オフピーク時の2倍の利用がある。ピーク時は夕方以降でもお客様が多い。

問 E.ピークとオフピークで、それぞれどのくらい前から予約が入りますか。※宿泊施設のみ

例：ピーク時は、早い方で半年ぐらい前から入り、1ヶ月前ぐらいでほぼ予約が固まる。オフピーク時は、2-3週間前の予約が多い。

問F-1.どの時間帯にチェックイン、チェックアウトされる方が多いですか。また、一泊のみと連泊される方では、チェックイン、チェックアウトされる時間に違いは見られますか。

問F-2.どの時間帯に貴施設を利用される方が多いですか。平日・休日や季節、イベント時などで特徴がありましたら、あわせてお教えてください。

つづいて、現在、無償実験として運行している「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」についてうかがいます。

問G.観光客の「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」の認知状況について教えてください。

1. ほとんどの方が知らない 2. 一部の方が知っている 3. 多くの方が知っている。

【観光客の認知状況についてお気づきの点】

問H-1.「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」の導入後、貴施設の利用者数や利用状況に変化はありましたか。

① 平日の利用（GW、夏休み期間中を除く）

- 1.とても増えた（3割以上） 2.やや増えた（1～2割） 3.変わらない

変化が大きい時間帯・・・（ ）時頃 ～（ ）時頃

【お気づきの点】

② 休日の利用（GW、夏休み期間中を除く）

1.とても増えた（3割以上） 2.やや増えた（1～2割） 3.変わらない

変化が大きい時間帯・・・（ ）時頃 ～（ ）時頃

【お気づきの点】

③ GW・夏休み期間中の利用

1.とても増えた（3割以上） 2.やや増えた（1～2割） 3.変わらない

変化が大きい時間帯・・・（ ）時頃 ～（ ）時頃

【お気づきの点】

問 H-2. 「観光おまかせなんじい」（平成 25 年 12 月 9 日～平成 26 年 9 月 30 日まで）、「おでかけなんじい」（平成 25 年 12 月 9 日～）が、運行されていますが、来店するお客様について何か変化はありましたか。

- 1. グループでの来店が多くなった 2. まとめ買いをする方が多くなった
- 3. 遠方からのお客様が多くなった 4. リピーターが増えた
- 5. 特に変化はみられない

問 I. 「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」ご利用の観光客から利用しての感想や要望の他、お問い合わせ等がありましたら、教えてください。

問J.貴施設からみて「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」が導入されたことで、メリットはありましたか。

1. とてもメリットがあった 2. ややメリットがあった 3. あまりメリットはなかった

【具体的な内容】

問K. 平成26年12月中旬より、「おでかけなんじい」が、無償運行から有償運行になる予定です（「観光おまかせなんじい」は、運行終了）。有償運行になることで、来店者や売上など貴店舗への影響はあると思いますか。

【具体的な内容】 例) 来店者は減少するが、まとめ買いは増える可能性がある など

問L. 「観光おまかせなんじい」、「おでかけなんじい」が本格運行となった場合、貴施設では利用者への割引サービスの提供など連携した取組を行う可能性はありますか。

- ① 貴施設のHPでの「観光おまかせなんじい」などのPR、貴施設での「観光おまかせなんじい」等のポスター掲示、チラシ配布

- 1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【連携のための条件等】

② 貴施設内での「観光おまかせなんじい」の乗降スペースの確保

1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【連携のための条件等】

③ 「観光おまかせなんじい」などの利用者への割引サービスの付与

1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【連携のための条件等】

④ 「観光おまかせなんじい」等の1日乗車券と貴施設での買い物券などがセットとなったチケットの販売

1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【連携のための条件等】

⑤ 「観光おまかせなんじい」などの車内・車外や、観光マップなどへの貴施設の広告掲載

1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【連携のための条件等】

- ⑥ 「観光おまかせなんじい」などへの運行費用の一部負担（「観光おまかせなんじい」の利用者数に応じた負担や、毎月一定の負担金等）

1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【連携のための条件等】

問 M. どのような形態であれば、お客様のデマンドバスの運賃を負担する可能性があると思いますか。項目ごとに教えてください。

- ① 往復分の運賃（600 円）を負担する

1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【負担のための条件・内容等】

- ② 片道分の運賃（300 円）を負担する

1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【負担のための条件・内容等】

- ③ 一定額以上の買い物をしたお客様への、デマンドバスの乗車券やデマンドバスの割引券の進呈。

1.可能性はあると思う 2.可能性はないと思う 3.どちらともいえない

【負担のための条件・内容等】 例) 5,000 円以上購入したお客様に、片道分の乗車券進呈

④ その他

【負担のための条件・内容等】

問し、最後に「観光おまかせなんじい」及び「おでかけなんじい」について要望やお気づきの点等ありましたら、おきかせください。

== ご協力ありがとうございました ==

3.調査結果

3-1.利用者アンケート(市民)

(1)属性

1)性別・年代

- 利用者アンケート(市民)回答者の性別は、女性の比率が85%と高くなっています。
- 年代は「75歳以上」が44%と最も多く、次いで「70～74歳」27%と70歳以上の方が71%を占めています。

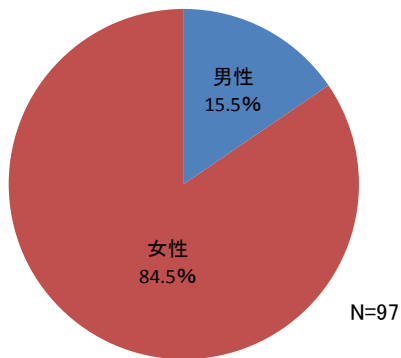


図-2.利用者アンケート(市民)回答者の性別

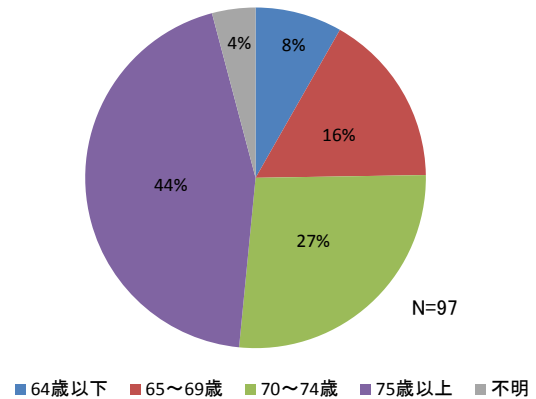


図-3.利用者アンケート(市民)回答者の年代

2)居住地

- 利用者アンケート(市民)回答者の居住地は、「知念」28%、「佐敷」が27%、「玉城」26%、「大里」13%の順に多くなっています。

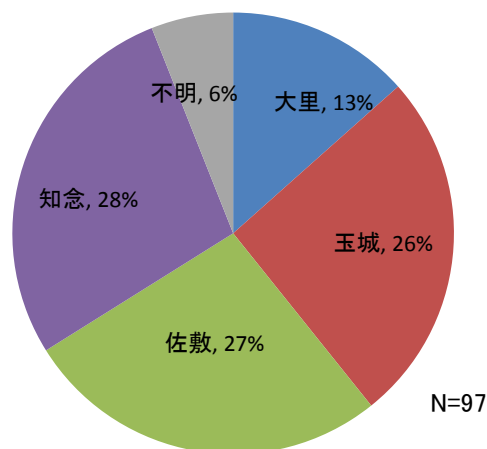


図-4.利用者アンケート(市民)回答者の居住地

3) 運転免許の保有状況

- 利用者アンケート(市民)回答者の運転免許の保有状況をみると、「持っている」方は13%、「持っていたが返納した」の7%をあわせても、免許を保有したことがある方は20%であり、多くの方が免許を保有したことがない状況となっています。

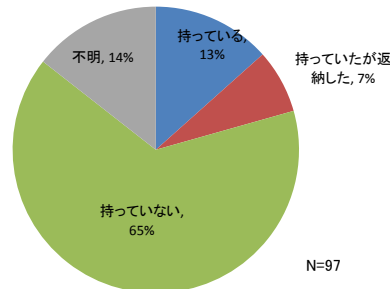


図-5.利用者アンケート(市民)回答者の運転免許の保有状況

4) 普段面倒を見てくれる方

- 普段よく面倒をみてくれる方の内訳は、「配偶者」が26%と最も多く、次いで「娘」23%、「息子」19%の順に多くなっています。
- 普段よく面倒をみてくれる方の67%はクルマを所有しています。
- 普段よく面倒をみてくれる方との同居率は、平均で51%であり、「義理の息子」、「義理の娘」、「孫」は100%、「配偶者」は80%と同居率が高くなっています。

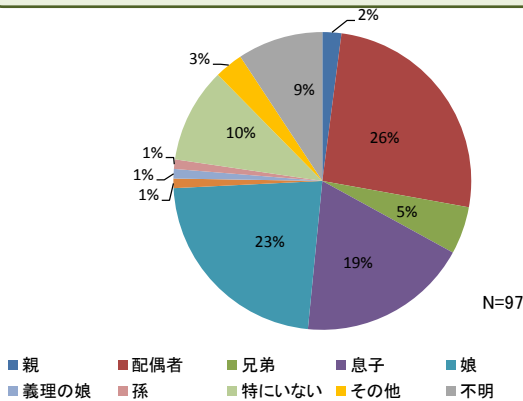


図-6.普段よく面倒見てくれる方

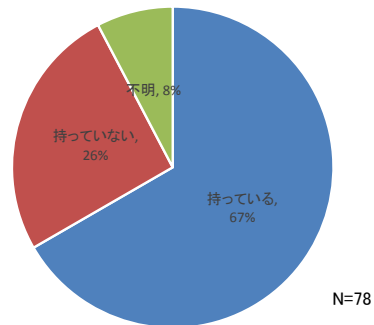


図-7.普段よく面倒見てくれる方のクルマの所有状況

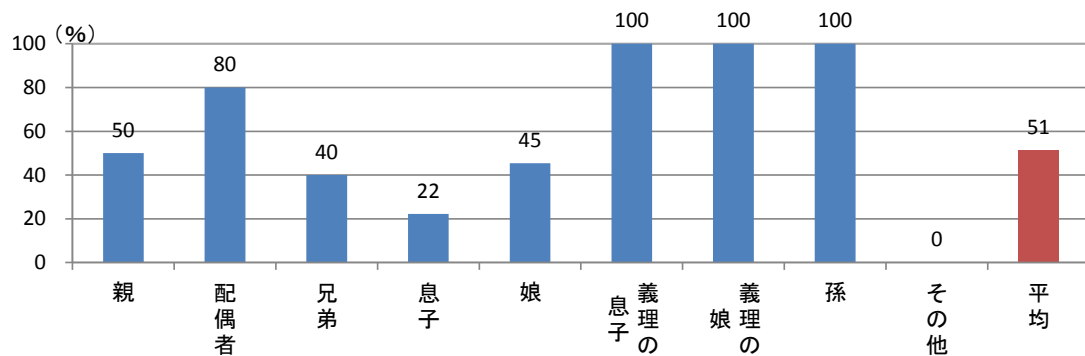


図-8.普段よく面倒見てくれる方との同居の有無

(2) デマンド導入後の変化

1) 外出機会の変化

- デマンド導入後の外出回数は、増加したと回答した方が60%を占めており、デマンド交通による外出促進効果がうかがえます。
- 外出機会の変化があった方の外出頻度の変化をみると、導入前の6.5回/月に対し、導入後は14.1回/月へと2.2倍に増加しています。
- 男女とも、デマンド導入で外出機会が増えた方は6割と同じですが、導入後の外出頻度は女性が14.8回/月と多くなっています。
- 年代別では、年代が高くなるほど外出頻度が高くなる傾向があり、導入後の70歳以上の方の外出頻度は11回/月を超えています。

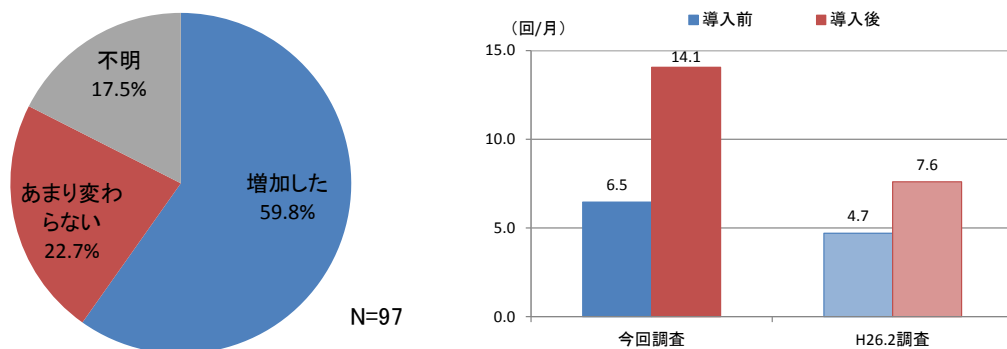


図-9. デマンド導入後の外出機会の変化の有無と外出頻度

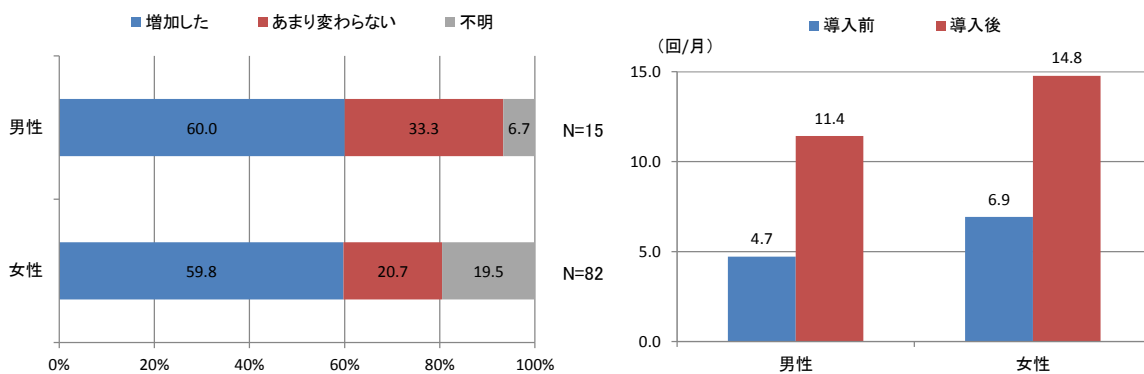


図-10. 男女別のデマンド導入後の外出機会の変化の有無と外出回数

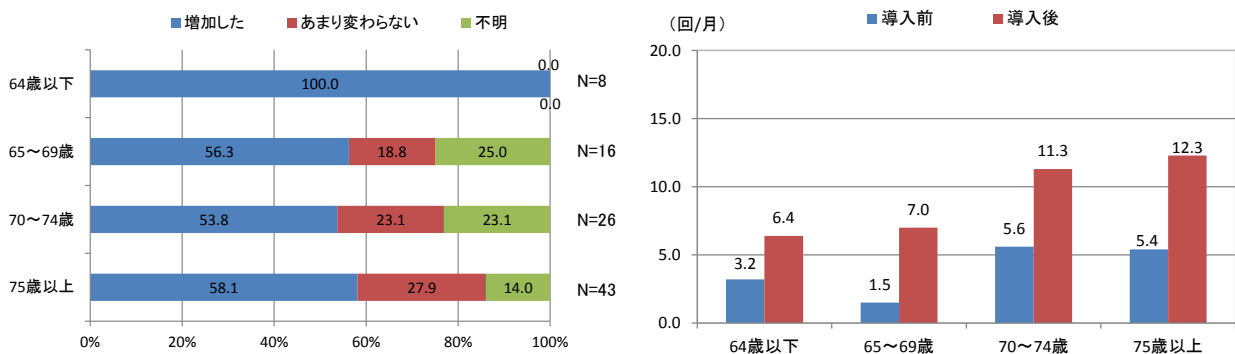


図-11. 年代別のデマンド導入後の外出機会の変化の有無と外出回数

● 普段よく面倒見てくれる方との同居の有無別では、同居、別居ともデマンド導入前後で外出頻度が2倍に増加しています。

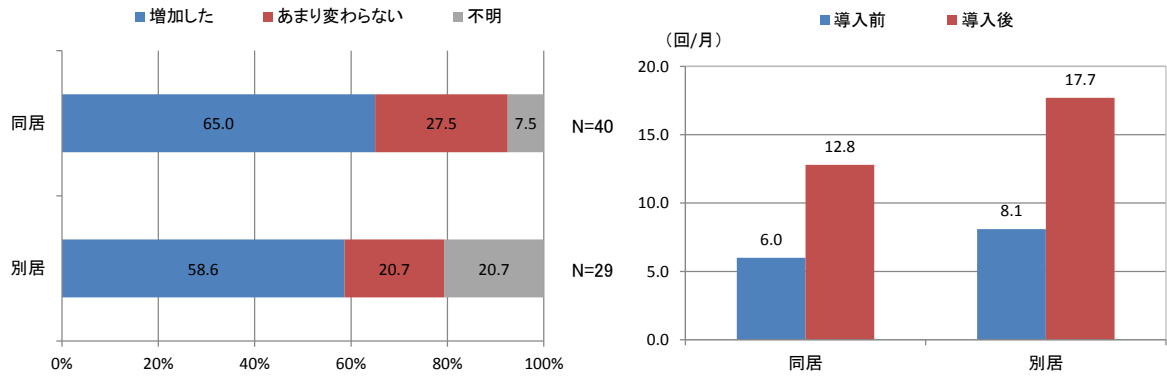


図-12. 普段よく面倒見てくれる方との同居の有無別の外出機会の変化と外出回数

2) 日常生活における変化

● デマンド導入後の日常生活の変化をみると、「送迎なしで家族などに気をつかわなくてすむ」が58%と最も多く、次いで「南城市内で買い物をする機会が増えた」53%、「早めに病院でみてもらう機会が増えた」43%、「友人・知人と話す機会が増えた」39%の順で多くなっています。

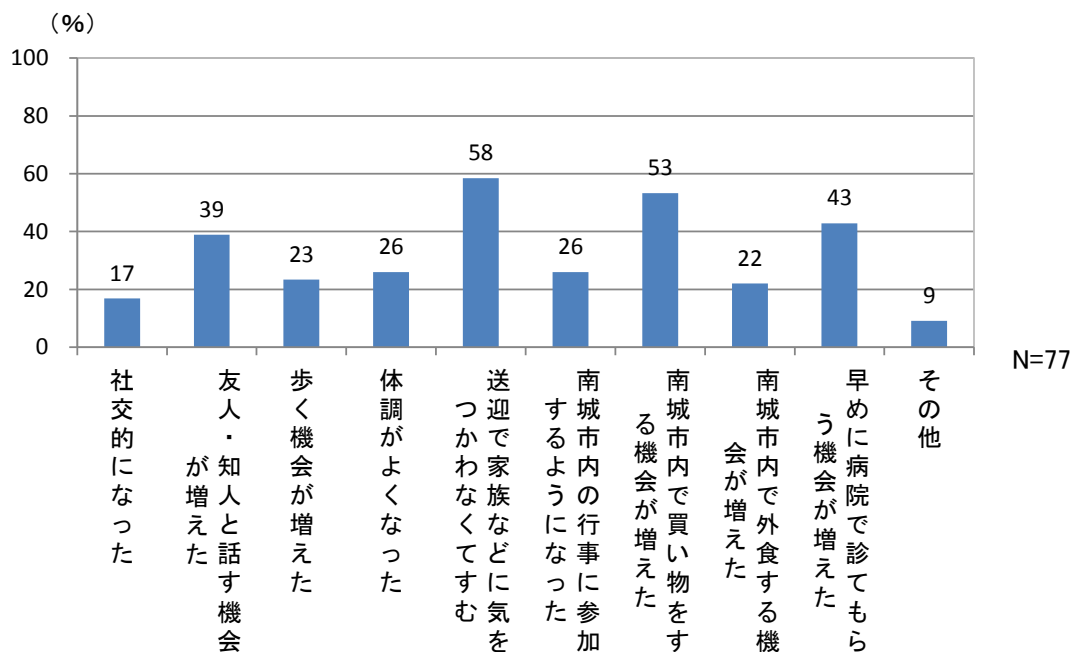


図-13. デマンド導入後の日常生活での変化(複数回答)

- 年代別では、「64歳以下」、「75歳以上」で「送迎で家族などに気をつかわなくてすむ」が56～75%と半数以上の方が変化を感じています。
- また、年代が高くなるにつれ「友人・知人と話す機会が増えた」、「体調が増えた」、「早めに病院でみてもらう機会が増えた」と回答する方が多くなっています。
- 普段よく面倒をみてくれる方との同居の有無別では、同居している方は「送迎で家族に気を使わなくてすむ」、「社会的になった」、「南城市内の行事に参加する機会が増えた」という方が別居の方より多くなっており、外出に気を使わずにすむことで、外出機会が増えていることがうかがえます。

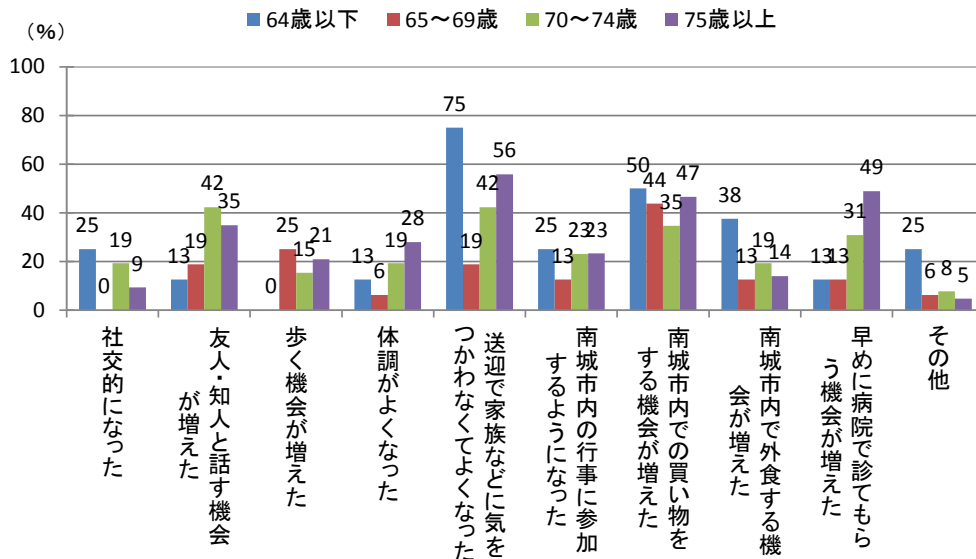


図-14.年代別のデマンド導入後の日常生活での変化(複数回答)

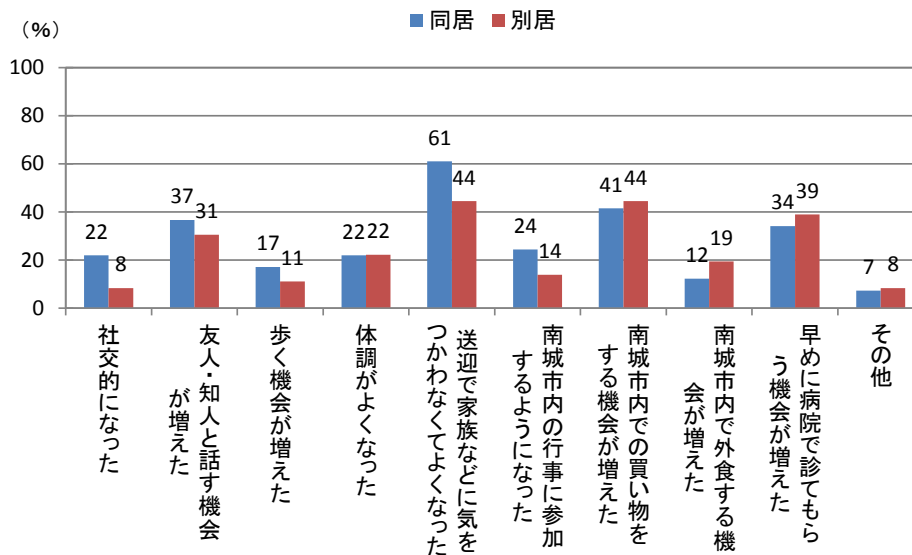
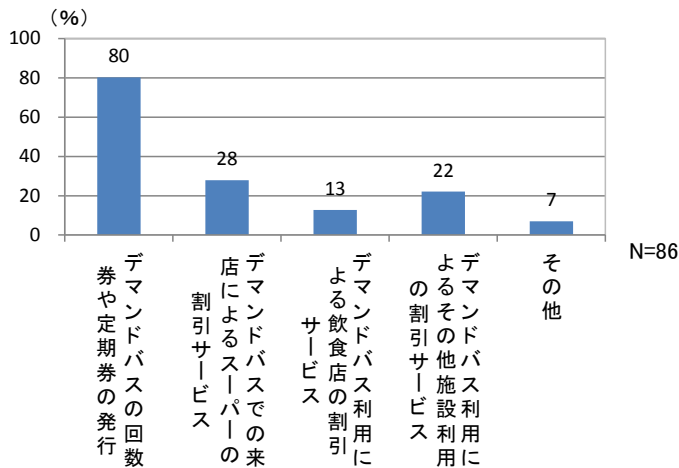


図-15.普段よく面倒見てくれる方との同居の有無別の日常生活での変化(複数回答)

(3)有償実験時に望まれるサービス

- 有償実験時に望まれるサービスは、「デマンドバスの回数券や定期券の発行」が80%と多くなっています。
- 自由回答では、割引サービスや、運行間隔の短縮などの要望があげられています。



N=86

【自由回答】

- 65歳以上は無料にしてほしい
- 免許返納者には割引してほしい
- 障害者割引サービス
- 時間指定を30分単位でできるとよい

図-16.有償実験時に望まれるサービス(複数回答)

(4)デマンド交通への感想・要望等

- デマンド交通への感想として「助かりました」、「継続してほしい」などの意見が寄せられています。

【自由回答】

- 助かりました (5)
- 継続してほしい (5)
- 今後も利用したい
- 路線バスの本数が少ないので便利になった
- 有償後は路線バスの運賃と比較して利用する
- 通院で助かっている
- 仕事で利用している
- 入院中の夫の食事の世話に利用しており助かっている
- 免許証を返納したお年寄りも多いので、これからますます大事になると思う
- バス代くらいは払いたい

3-1.利用者アンケート(観光客)

(1)属性

1)居住地

- 「観光おまかせなんじい」の利用者の居住地をみると、平成25年度の無償実験(冬季)では、98%を県外居住者が占め、県内居住者は2%にすぎなかったですが、平成26年度の無償実験(夏季)では県内居住者の割合が22%と大幅に増加しています。

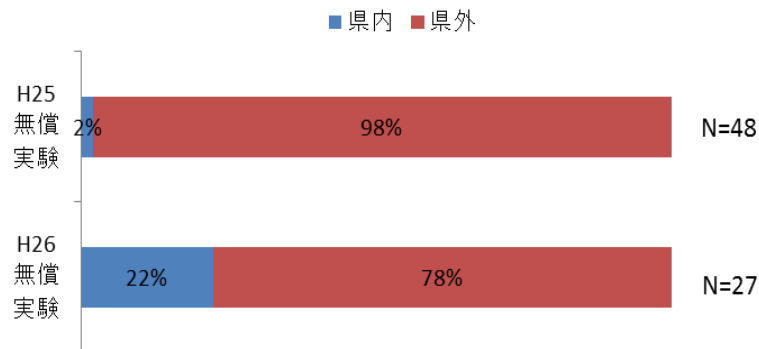


図-17.利用者(観光客)の居住地

2)同行者数

- 観光客の同行者数は、「2人」が45%と半数近くを占め、「1人」の22%とあわせると約7割の方は2人以下と少ない人数での乗車が多くなっています。
- 全体的には少人数での乗車が多くなっていますが、一方で、「6人」以上のグループの2割を占めています。
- 同行者の内訳をみると、「友人」が67%と最も多くなっています。

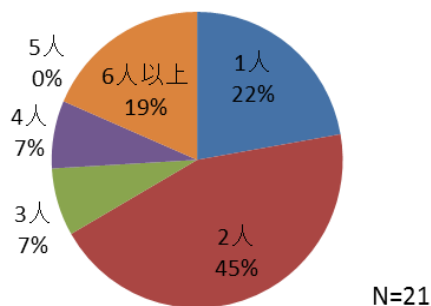


図-18.観光客の同行者の人数

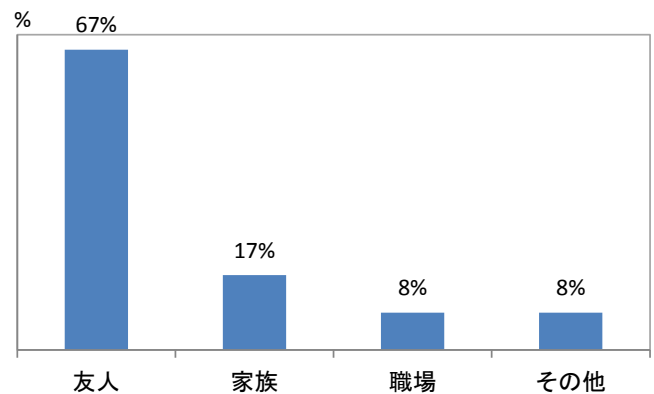


図-19.観光客の同行者の内訳

(2)南城市来訪状況

1)今回の宿泊日数と南城市の滞在日数

- 観光客の南城市の滞在日数は、県内居住者の利用が多くなったこともあり、「日帰り」の割合がH25の実証実験の36%に対し、52%と大幅に増加しています。
- H25の無償実験では、「市内」での宿泊が42%を占めていましたが、H26の無償実験では30%に減少しています。

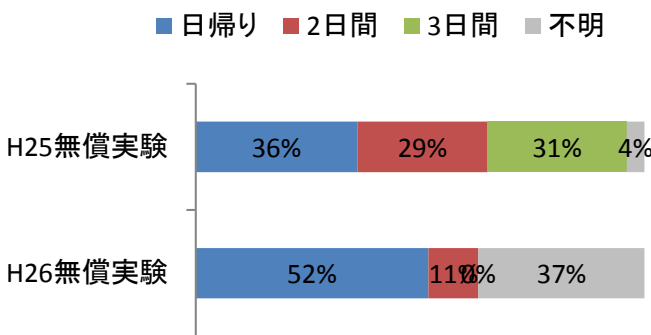


図-20.観光客の南城市滞在日数

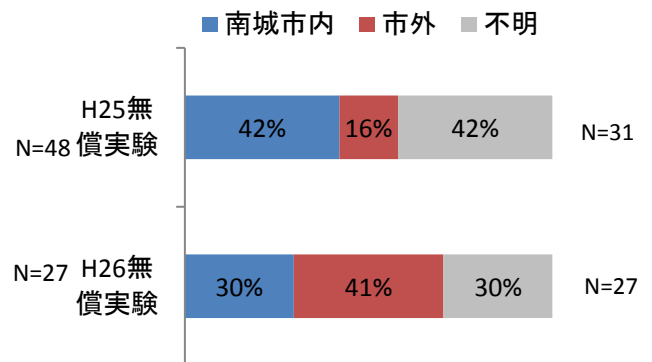


図-21.観光客の宿泊先

2)南城市観光の際の情報源

- 南城市観光の際に参考にした情報源としては、「観光・旅行雑誌」が41%と最も多く、その他では「家族・知人等のクチコミ」22%、「観光施設のHP」「観光案内所のチラシ・スタッフ等」が19%と多くなっています。

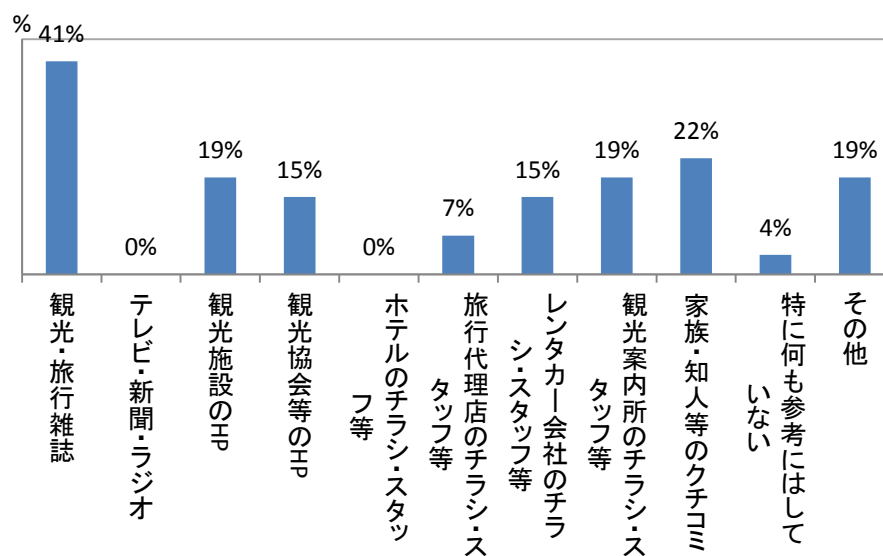


図-22.南城市観光の際の情報源(複数回答)

3)南城市訪問の検討時期

- 南城市訪問を検討した時期は、「沖縄旅行計画時点」が67%と7割近くを占めており、多くの方が沖縄来訪前に南城市への来訪を検討していることがわかります。
- サンプル数は5と少ないですが、沖縄滞在中での南城市への来訪を検討した場所は、「空港」が4割を占めています。

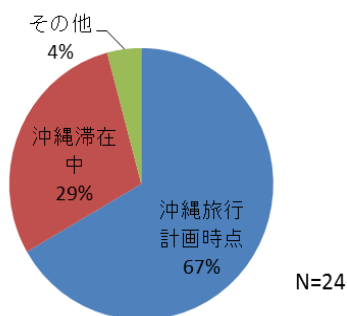


図-23.南城市来訪の検討時期

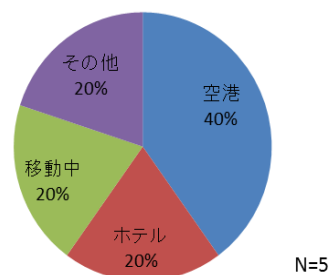


図-24.沖縄滞在中での南城市来訪の検討場所

(3)デマンド交通について

1)デマンド交通の認知媒体

- 「観光おまかせなんじい」及び「おでかけなんじい」の認知媒体としては、H25 無償実験、H26 無償実験ともに「観光施設のチラシ・ポスター」が最も多く、H26 無償実験では37%の方が参考にしています。
- H25 無償実験と比べると、H26 無償実験では「南城市・観光協会等のHP」、「宿泊先のチラシ・ポスター」、「友人・知人等のクチコミ」とも増加しています。

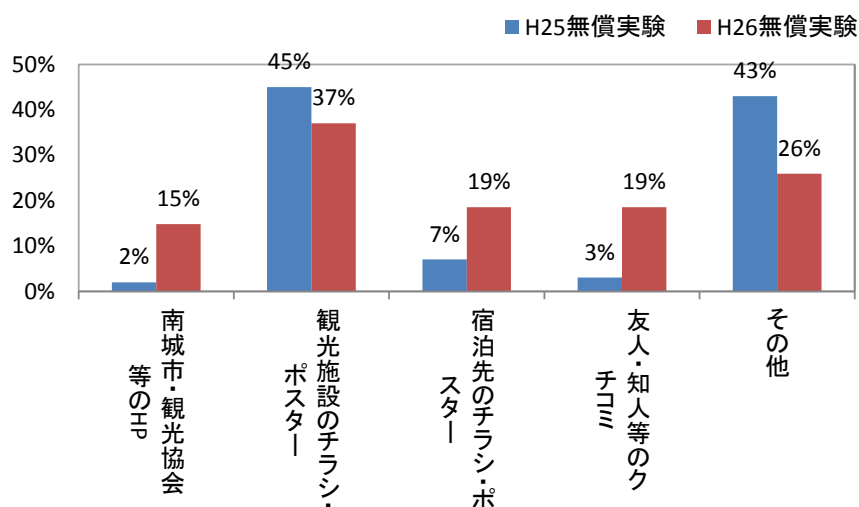


図-25.デマンド交通の認知媒体(複数回答)

2)南城市来訪前のデマンド認知時の行程見直しの可能性

- 南城市来訪前にデマンド交通を知っていた場合の行程見直しの可能性について、31%の方は「少し南城市での立ち寄りを増やしたと思う」、23%の方は「大幅に南城市での立ち寄りを増やしたと思う」と回答しており、あわせて54%の方は来訪前にデマンドバスを認知することで、南城市内での立ち寄りが増えた可能性があることを示唆しています。
- 具体的に追加で立ち寄りたかった場所としては、5人の方が「ビーチ」、3人の方が「玉泉洞」と回答しています。
- なお、19%の方は「南城市来訪前に知っていた」と回答しています。

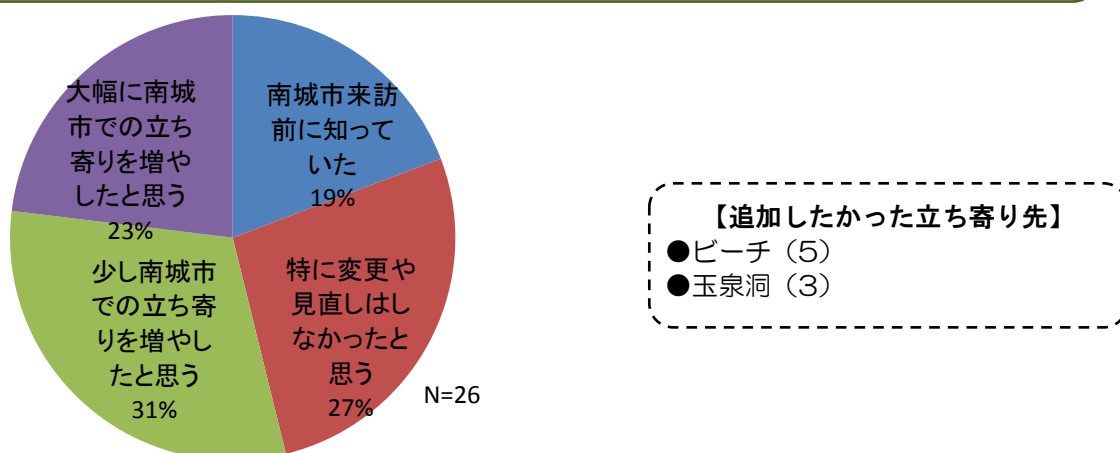


図-26.南城市来訪前のデマンド認知時の行程見直しの可能性

(4)有償時の意向

1)有償だった場合の利用の有無

- もし、デマンド交通が1人1回につき300円の運賃がかかっていれば、利用しましたかという問に対し、92%の方は「利用していたと思う」と回答しており、有償時においても観光客は高い利用意向があることが確認されました。

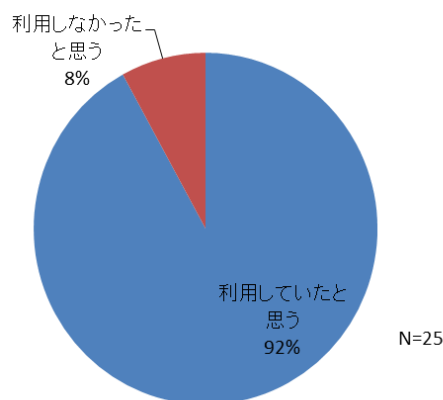


図-27.運賃 300 円時の利用意向

2)1 日乗車券に支払ってもよい運賃

- デマンド交通の1日乗車券に支払ってもよい運賃は、H26無償実験では「1,000円以下」が73%と最も多くなっています。
- H25無償実験に比べると「1,000円以下」の割合が48%から73%へと25%増加しています。

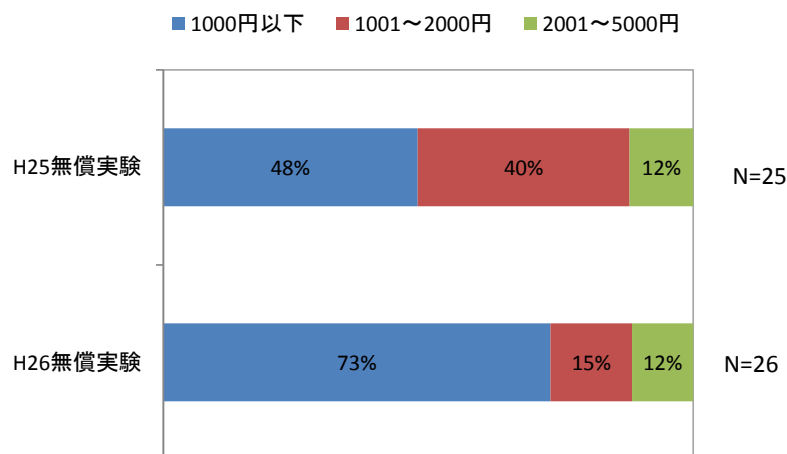


図-28.1 日乗車券に支払ってもよい運賃

(5)デマンド交通への意見・要望等

- 自由意見では「移動手段がないのでとても助かった」、「無料でとてもありがたい」といった意見が多く寄せられました。

【自由回答】

- 移動手段がないのでとても助かった (3)
- 無料でとてもありがたい (3)
- 那覇市までの乗り換え案内もしてくれ助かった
- これからも続けてほしい
- とても便利なので、観光客にPRすればもっと利用すると思う
- 30分単位で予約できるので助かる

3-3.ヒアリング調査

(1)観光客の来訪・回遊状況

- 観光客の南城市内の回遊は、おきなわワールド、斎場御嶽、ニライ・カナイ橋などが多くなっています。
- 観光客のアクセス手段は、レンタカー、マイカーでの来訪が多くなっています。
- 市内の主要観光地へのバスでのアクセス方法や、市外では空港へのアクセス方法の問い合わせが多くなっています。

表-6.観光客の来訪・回遊に関するヒアリング結果

把握項目	観光施設	宿泊施設
市内の回遊状況	<ul style="list-style-type: none"> ●おきなわワールド～斎場御嶽が多い（直行バスがない） ●ニライ・カナイ橋、知念城跡、斎場御嶽 	<ul style="list-style-type: none"> ●斎場御嶽、がんじゅう駅、久高島、おきなわワールド、ニライ・カナイ橋、知念岬公園、垣花樋川、玉城城跡、奥武島
アクセス手段	<ul style="list-style-type: none"> ●レンタカー75%、観光バス 20% ●レンタカー50%、マイカー40% 	<ul style="list-style-type: none"> ●マイカー50%、レンタカー20%、観光バス 20% ●レンタカー80%、路線バス 20%
交通への要望	<ul style="list-style-type: none"> ●空港～おきなわワールドへのアクセスの問い合わせが多い ●バスでの空港、ニライ・カナイ橋、おきなわワールドへの行き方の問い合わせが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ●空港～ホテルの交通手段の問い合わせが多い ●市外の読谷や美ら海水族館までのバスを聞かれることがある

(2) 観光施設の利用状況

- ピークはGW、7～9月、オフピークは冬季や6月が多くなっています。
- 宿泊施設の予約は、ピークで半年～1年前が多くなっています。

表-7.観光客の観光施設の利用状況に関するヒアリング結果

把握項目	観光施設	宿泊施設
ピーク・オフピーク	<ul style="list-style-type: none"> ●10～3月は団体客、7～9月はファミリー、若年層が多い ●オフピークは4～6月（GW除く） ●通年で大きな差はない 	<ul style="list-style-type: none"> ●ピークは7～9月（個人、ファミリー）、10～11月（修学旅行、団体）、オフピークは6月 ●ピークは7～9月、GW、オフピークは12～2月
予約時期	—	<ul style="list-style-type: none"> ●ピーク時は1年前から、オフピークはバラツキがある ●ピークは半年前から、1～2ヶ月前で満室になることもある ●オフピークは2～3ヶ月前が多い
利用時間帯	—	<ul style="list-style-type: none"> ●平日は18～19時、休日は15～18時のチェックインが多い ●チェックアウトは10～11時が多い ●一泊の方は15～16時、連泊の方は18時意向のチェックインが多い

(3) デマンドによる変化

- 観光客にはデマンドはほとんど知られていない状況となっています。
- 観光施設では利用者数の変化等のメリットはみられません、スーパーではグループや遠方からの来店が増えた、客単価が増えたなどの変化、メリットがみられます。
- 一部の宿泊施設では、利用者数の増加や、送迎の手間が軽減されたなどのメリットがみられません。

表-8. デマンドによる変化に関するヒアリング結果

把握項目	観光施設	宿泊施設	スーパー
観光客の認知度	●ほとんどの観光客が知らない	●ほとんどの方が知らない	—
施設・店舗利用者の変化	●特に変化なし	●特に変化なし ●やや増えた(1~2割)	●グループでの来店が多くなった ●遠方(知念・佐敷)からのお客様が増えた
利用者のデマンドへの感想	●事前にデマンドを知っていたかという方がいた	●「観光おまかせなんじい」が時間通りに運行していないことがあり、運行しているのかという問い合わせがあった ●ドライバーが地元の方で親しみやすかったという方がいた ●30分単位の運行だと利用しやすい ●夕食で飲食店を利用するには最終便が早い。タクシーで帰る方も多い	●予約しているバスが店舗のどこで待機しているかわからないことがある ●携帯電話を持っていない高齢者も多く、帰りの予約方法の問い合わせが多かった
施設へのメリット	●特になし	●たまにデマンドを利用して来るお客様をみた ●とてもメリットがあった(運転できない少人数のお客様はとても助かっている。施設としてもお客様の送迎の手間が軽減された)	●女性のグループでの来店がやや多くなった ●遠方からの新規のお客様が増え、ケース買いや家電製品等の大型商品の購入が増えるなど客単価が上昇した

(4)本格運行に向けた施設の意向

- 観光施設、宿泊施設、スーパーともに本格運行時のデマンド利用者の割引サービスなど連携の可能性が確認されました。
- 運賃の負担については、一部の観光施設は可能性があると回答していますが、宿泊施設、スーパーは可能性が低くなっています。
- なお、連携にあたってはデマンド利用を確認出来る券などが必要という意見が寄せられています。
- 自由意見では、PR 不足、300 円の料金は高いといった意見が寄せられています。

表-9.本格運行に向けた施設の意向に関するヒアリング結果

把握項目	観光施設	宿泊施設	スーパー
有償運行時に予想される影響	—	—	●一時的にお客様が減少すると予想している
連携意向	<ul style="list-style-type: none"> ●市から依頼があれば広報の協力可能性はある ●「おでかけなんじい」利用が確認出来れば入場料割引の可能性はある ●すでに店内でデマンド案内をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテル独自のプランのようにデマンド利用とセットの割引企画ができる可能性はある。デマンド利用がわかるものがあればよい ●デマンドバス利用の方はプレゼントの進呈などできると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ●費用対効果でデマンド利用者への割引や、割引クーポンなどの可能性はある ●各テナントでポイント増量や値引きなどの特典付与の可能性はある
運賃負担の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ●集客につながるのであれば運行費用の一部負担の可能性もある ●コストがかかるので検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●費用負担の可能性はない 	<ul style="list-style-type: none"> ●デマンド以外で来店する方との公平を保つため、費用負担は慎重に考える ●デマンド以外で来店する方もいるので可能性はない
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●空港の案内所など南城市来訪前のPRがあるとよい。 ●観光客1回300円は負担ではないが、市民には負担だと思う ●南部の他市町村と連携して共同運行した方が利用者へ便利 ●空港～南城市の運行があると集客につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ●宣伝不足 ●携帯電話番号の確認などオペレータの対応を統一してほしい ●デマンドバスの所在地がわかると安心して待てる 	<ul style="list-style-type: none"> ●有償になっても、行きはデマンドで、帰りは店舗のバスで案内でき、メリットがあると思う。 ●有償化はよいが、300円は高い気がする。 ●有償化の事前周知をしないとクレームがくる可能性がある ●12月はお歳暮の時期になるので有償運行は早めに再開した方がよい

3-4.調査結果のまとめ

表-10.調査結果のまとめ

区分	内容
市民	<ul style="list-style-type: none"> ●免許を保有したことがある方は、利用者の2割に過ぎず、もともと公共交通を利用せざるを得なかった方のデマンド利用が多くなっています。 ●デマンド導入により利用者の6割はデマンド導入により外出襟度が増加しています。 ●デマンド導入による変化としては、「送迎で家族に気を使わなくてすむ」を6割の方があげており、普段よく面倒をみてくれる方と同居している方は、「社会的になった」、「南城市内の行事に参加するようになった」といった変化が、別居の方より多くみられます。 ●市民からは「助かりました」、「継続してほしい」といった意見が寄せられています。
観光客	<ul style="list-style-type: none"> ●夏季のH26無償実験は、冬季のH25無償実験にくらべ、県内居住の観光客の割合が多くなっています。 ●デマンドバスの認知媒体としては、H25無償実験、H26無償実験ともに「観光施設のチラシ・ポスター」が多くなっています。 ●過半数の方は、南城市来訪前にデマンドバスを知っていたら、南城市内での立ち寄りを増やしたと思うと回答しており、南城市来訪前にデマンドの周知を図ることで、南城市での回遊性向上の可能性があることが把握されました。 ●300円の有償であっても9割の方はデマンドを利用したと回答しており、有償時においても観光客は高い利用意向があることが確認されました。 ●観光客からは、「移動手段がないのでとても助かった」といった意見が寄せられています。
観光・宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ●観光・宿泊施設ではデマンド導入による利用者数の増加などの変化はあまりみられません。 ●一部の宿泊施設では、運転できない少人数のお客様が助かり、施設としても送迎の手間が軽減されたというメリットがあげられています。 ●本格運行時の割引サービスなどの連携の可能性は高いことが把握されました。 ●なお、連携にあたってはデマンドバスの利用を確認出来る券などが必要という意見が寄せられています。
スーパー	<ul style="list-style-type: none"> ●グループでの来店や、遠方からの来店が増えるなどデマンド導入による変化が確認されました。 ●また、ケース買いや、大型商品の購入など客単価が増えたという施設側のメリットも確認されました。 ●割引サービスの付与などの連携の可能性は確認されましたが、費用負担についてはデマンド以外の来店者との公平性の観点から慎重な意見があげられています。